

CP-6-Ⅲ-13	<b>老年医学概論</b>	第6学年	前期 選択	0.5単位
担当者	檀原 高			
一般目標 (GIO)	高齢者の診療における基本的な知識を修得し、薬剤師の役割や対応を考えることができる。			
到達目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会における高齢者の実態を理解する (平均寿命、平均余命、健康寿命、性差など)</li> <li>2. 老化に伴う生理的な変化を理解し、高齢者の病的変化を指摘できる。</li> <li>3. 高齢者特有の老化の特徴を理解する (例：総合的評価、臓器機能、老年症候群、フレイル、認知機能、精神変化、運動機能、視聴覚など感覚機能など)</li> <li>4. 高齢者の薬物治療への基本を理解する。</li> <li>5. 高齢者に特徴的な症候の病因・病態を理解する (例：発熱、脱水、熱中症、食欲低下、頭痛、めまい、胸痛、呼吸困難、便秘、尿失禁、認知機能低下、抑うつ、不眠、腰痛、歩行障害、貧血など)。</li> <li>6. 高齢者の主要疾患の概要、薬物療法の基本的な考え方について理解する。</li> </ol>			
受講心得・準備学習等	予め授業資料を配布するので、授業の概要は理解しておくこと。授業ではプレテスト・ポストテストを実施する。			
事後学習・復習等	重要事項を授業中に指摘するので、試験に向けて重点的に復習をすること。			
オフィスアワー	2コマずつ授業が行われる。授業の前後や授業の中休みをオフィスアワーとする。メールでの問い合わせも可とする。			

### 授業の形式と各回の内容

授業の形式		【講義・演習】
回	項目	内容
1	① 高齢者と社会	高齢社会の概要、老化 (生理的、病的)、老年病学総論 (高齢者の病因・病態からみた老年病)。高齢者の薬物療法の基本的な考え方
2	② 生理的、病的老化とは	
	③ 老年病学 (総論)	
4	④ 高齢者の薬物療法	
3	高齢者の主要症候	高齢者の主要な症候の病因・病態 (発熱、脱水、熱中症、食欲低下、頭痛、めまい、胸痛、呼吸困難、便秘、尿失禁、認知機能低下、抑うつ、不眠、腰痛、歩行障害、貧血など)。問診と診察のポイント。
4		
5	高齢者の主要疾患	高齢者の主要疾患の概要、薬物療法の基本的な考え方 (領域別の重要疾患・感染・予防・喫煙を含む)
6		

成績評価の方法	【試験形式】多肢選択問題を中心に実施し、総合的に評価する。
成績評価の基準	試験問題の正解率 60%以上を目途とする。
教科書	老年医学系統講義テキスト (編：日本老年病学会)、西村書店 (2013年)
参考書など	老年医学テキスト (編：日本老年病学会)、ジカルビュー社 (2008年) 高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015 (編集 日本老年病学会/日本医療研究開発機構 研修費・高齢者の薬物治療の安全性に関する研究 研究班 (2015年))